

議 事 録

開催場所	大津市唐崎三丁目17番35号 大津市立唐崎デイサービスセンター
開催日時	平成29年3月15日(水) 14時00分～14時45分
出席者	利用者代表 天野 幾雄(病気で休み) 利用者家族代表 長村 いつ子 民生委員
	前田 壽鶴代 地域包括センター職員 大下 彩子 介護支援専門員 八木 尚子
	事務局(所長) 森脇 一祥 (生活相談員) 山田 仁芳
資料等	別添のとおり
内容	<p>1. 開会</p> <p>配布資料の確認</p> <p>2. 所長あいさつ</p> <p>地域密着型通所介護では、運営推進会議の開催が6ヶ月に一度義務付けられ、二回目となります。</p> <p>地域の方が、どのようなことを望まれているのかを知る機会として、また、事業所が地域と良好な関係を築くために開催し、ご説明させていただきご意見等をお聞かせ願いたい。</p> <p>運営推進委員紹介(事務局より)</p> <p>3. 平成28年度事業の実施状況(以下、資料に基づき説明)</p> <p>1)平成28年度事業の方針を再度確認の意味で説明</p> <p>①利用者の笑顔 ②職員の笑顔 ③地域の笑顔 を資料に基づき説明</p> <p>2)平成28年度事業の実施状況(平成28年9月～29年2月)</p> <p>①*定員 18名 *利用者登録者数 *利用者平均年齢 *平均介護度 *男女比 を説明</p> <p>②職員の資質向上のための取組み</p> <p>各研修について説明</p> <p>③事故、ヒアリハット事例、対応状況を説明。</p> <p>④デイサービス利用者の健康管理の取組み</p> <p>イ.水分補給について説明</p> <p>ロ.感染予防について説明</p> <p>⑤取組状況</p> <p>写真に基づき行事の説明</p>

## 7. 意見交換

説明は、以上です。委員さんから地域密着に向けてきたんのないご意見をお聞きしたいと思います。

天野: 介護体験に来る学生さんが、昔の数の数え方も知らない。学校での指導が必要ではないか。

雑祭りの催事で「明かりを点けてボンボリ…」の歌を歌ったが、職員は、利用者も知っていると思い込んでいたが、利用者はその歌を知らなかった。戦前・戦後の生活を知らない面が多々あるので知識の習得が必要ではないか。(文書提出)

山田: 40台の職員は、昔の事を知らないことも多いが、知らなくてもいいと思う。教えてもらう事で、会話ができ、それも、いいのではないかと思う。

八木: 色々な行事を行っていただいていると思うが、「家族さんに声を掛けて一緒にする」のはどうでしょうか。

家族の中には、一緒にに行事をしたいと思われている方もあるのではないのでしょうか。

山田: 職員の中でも色々意見があり、独居の方もおられるので、独居の方はギャップを感じられると思うし、課題があると思う。

八木: ナベレク面白いと思うが、バイキングをしているデイがあるが、面白いと思うが…

山田: 隔週で、オヤツの時に、コーヒー、紅茶、昆布茶を選択していただき提供している。食事については、刻み、粗刻み、ペースト、トロミ等個々人にあったものを提供しているので、いい形でできればと思うが、慎重にならざるを得ない。

大下: 定員18名でスタッフの配置はどうですか。

山田: 常勤8名、運転手、パート3名で、常勤は、所長、生活援助員、看護師各1、介護職5名  
パートは、入浴と食事の介助をしています。

大下: 「未病に役立つコミュニケーションスキル」に注目しての研修会はずごとと思う。

山田: 事業団として、研修のあり方を研究していて、昨年、理念と基本方針を定めて、地域に根ざした事業団という事を考えている。

八木: 唐崎の職員のチームワークが良い。よく気がついて、良くしてもらっている聞いている。

前田: 利用者との関わりを見さしてもらっていると、非常に良いと思う。催し物で歌を歌っていても盛り上げ方が良い。皆が笑顔で、調子の悪い人も悪いなりに気を付けていて、よく見ている。  
短時間でも、楽しかったな、良かったなどの言葉が聞こえる。

長村: 帰ってきた時、どうやったと聞いても、何も言わない。

前田: 連絡帳に、書いてあるのでは。

喫茶でも、また来てや、ありがとうと言ってくれます。

山田: 利用者も一般の方と触れ合う事で、社会性の維持に役立っている。

今後の、課題としては、情報の発信が不足していると思う。地域の福祉事業の方々との連携を活発にしていかなければと思う。

森脇: 貴重なご意見ありがとうございました、今後の事業に活かして行ければと思います。

以上